【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成21年2月12日(2009.2.12)

【公表番号】特表2008-524362(P2008-524362A)
【公表日】平成20年7月10日(2008.7.10)
【年通号数】公開・登録公報2008-027
【出願番号】特願2007-546062(P2007-546062)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　87/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　3/22　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　3/28　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　3/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　87/00
Ｃ０８Ｋ　3/22
Ｃ０８Ｋ　3/28
Ｃ０８Ｋ　3/38

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月12日(2008.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
・ポリアミド、ポリアリールエーテルケトン、液晶ポリマー、ポリアルキレンフタレート、ポリカーボネート、ポリアリーレンスルフィド及びポリアリーレンオキシドから選択される１種以上の半結晶質ポリマー(SCP)、及び
・多くとも２．２の電気陰性度を有する元素の酸性酸化物及び両性酸化物から選択される１種以上の酸化物(OX)及び、
・１．３乃至２．５の電気陰性度を有する元素の１種以上の窒化物(NI)
を含むことを特徴とするポリマー組成物。
【請求項２】
前記半結晶質ポリマー(SCP)が、ASTM D648にしたがって測定される場合に１．８２MPaの荷重下で８０℃より高い加熱撓み温度を有する請求項１記載のポリマー組成物。
【請求項３】
前記半結晶質ポリマー(SCP)が、ポリテレフタルアミドである請求項１又は２記載のポリマー組成物。
【請求項４】
前記酸化物(OX)が、１．６以下の電気陰性度を有する元素の酸化物である請求項１～３のいずれか１項記載のポリマー組成物。
【請求項５】
前記酸化物(OX)が、酸化アルミニウムである請求項１～４のいずれか１項記載のポリマー組成物。
【請求項６】
前記窒化物(NI)が、１．６以上の電気陰性度を有する元素の窒化物である請求項１～５のいずれか１項記載のポリマー組成物。

【請求項７】
前記窒化物(NI)が窒化ホウ素である請求項１～６のいずれか１項記載のポリマー組成物。
【請求項８】
請求項１～７のいずれか１項記載のポリマー組成物を含む１以上の部品を含むことを特徴とする製品。
【請求項９】
請求項１～７のいずれか１項記載のポリマー組成物を含むことを特徴とする製品の部品。
【請求項１０】
電子部材、光電子部材、コンピュータ部材、表面実装技術部材及び携帯電話部材から選択される請求項８記載の製品。